

旭川機械工業株式会社

北海道旭川市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

多様なユーザーニーズに応える木材加工機械の開発製造を通じて、木材・木製品産業の高付加価値化に貢献

- 熟練の技術や高度な知識を必要とせず、木材を簡単操作で複雑かつ微細加工を可能とする CNC 木工旋盤を開発
- 車椅子の利用者や長時間の立ち作業が困難な人にも安全に操作でき、障害を持つ人の雇用環境創出に貢献
- 木材加工機械の製造を通じて、地域の基幹産業である木材・木製品工業等の持続的発展と雇用の確保に貢献

企業基本情報

所在地	北海道旭川市永山北3条7丁目1-11
電話/FAX	0166-48-7261/0166-48-7263
URL	http://www.asahikawakikai.com/index.html
代表者	代表取締役 関山 憲充
設立	1947年
資本金	1,000万円
従業員数	12人



会社概要

創業以来、木材加工や食品加工向けの産業機械、各種プラントの設計・製作を手掛けている。特に、木材加工機械は、国内有数の家具産地である旭川地域を中心に売上げを伸ばし、同社売上げ全体の15%を占めている。

近年はユーザーニーズの多様化により、家具にとどまらずコップなどの食器や名刺入れ、メガネフレームなどへの木製品需要が増加しており、ユーザーニーズを満たす複雑・微細加工を可能とする木材加工機械の開発に力を入れている。



社屋全体

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 公設試と共同開発した CNC 木工旋盤が、ユーザーから高い評価を獲得

北海道立総合研究機構林産試験場が開発した「木材を立体造形するコンピュータ制御専用ソフト」を活用し、三次元 CAD データにより、木材を柔らかな曲面に仕上げなどの複雑加工や微細加工が行える CNC 木工旋盤「3D ターニングマシン」を開発し商品化。

従来一般的な木工旋盤ではできない三次元加工は、熟練の技術や高度な知識を必要とせず、簡単操作かつ短時間で加工できることから、木工業者等のユーザーから高い評価を獲得している。



3D ターニングマシンとコンピュータ制御盤

▶▶▶ 開発した木工旋盤は、障害を持つ人の雇用環境の創出に貢献

「3D ターニングマシン」の開発は、障害者自立支援法が改正され、障害者施設ではより経営的な自立を求められていることを知り、障害を持つ人が扱っても生産性が高く、収益を上げられるような機械設備を製作できないかと考えたことがきっかけ。

車椅子の利用者や長時間の立ち作業が困難な人にも操作しやすい工夫が施され、また、安全装置の搭載により、障害を持つ人にも安全に操作できる仕組みとなっており、障害を持つ人の雇用環境の創出に貢献している。



ポリテクセンターからの企業実習生の受け入れ

▶▶▶ 木材加工機械の製造を通じて、地域産業の持続的発展と雇用確保に貢献

地域資源である木材から多種多様な高付加価値製品を生み出すため、北海道立総合研究機構林産試験場と連携し、木材加工機械を開発製造している。

地域の基幹産業である木材・木製品、家具・装備品製造業は、安価な海外製品に押され、従事者も減少し、これまで培った技術を継承していくことが困難になりつつある。

このため、誰もが簡単に木材を複雑な形状に切削加工できる加工機械を開発することにより、地域産業の持続的発展と雇用の確保に貢献している。



加工した木工クラフト